

オフィスチャレンジ科 CADコース

※科名、コース名は令和7年4月時点の予定名称です。

「障害者雇用での企業就労」を目指す方のための職業訓練



入校前

働くことに対する不安

- ・ 障害を開示せず(クローズ)就労したが続かず、次は障害者求人で就労したい。
- ・ 仕事をしていない期間があり、社会復帰することに不安がある。
- ・ 就労経験がなく、就職活動をどのように進めればいいかわからない。
- ・ 自分の障害特性で、どのように働いていけばいいかイメージできない。

障害者雇用で、まず求められることは、
自身の特性をきちんと理解しているか（自己理解）です。



指導員



面接

（自分のことを
よくわかっていない…）

△△が苦手ですが、〇〇はできます。
苦手なことは、□□で対応しています。



どんな人かわからない人
を企業は採用できない。



自分にできること、できないことが
明確であれば、企業は特性に応じて、
仕事を頼むことができる。



訓練を
受ける

オフィスチャレンジ科 3つの方針

自己理解

自分を知る

訓練を通して、自身の特性（得意なこと、苦手なこと
など）を知り、自分に合った就労を目指す。

仕事 基本スキル

仕事の基本スキルを身に付ける

どのような仕事にも必要な「考える力」「協働する力」
などを身に付け、仕事の基礎力を高める。

専門スキル

専門スキルを身に付ける

業務を遂行するために必要な知識や技能を身に付けて、
人材の価値を高める。

修了後

- ・ 自分に合った働き方で
- ・ 自分の能力を活かして

就職



職業訓練を通して自己理解を深め、仕事の基本スキルを身につけることで、
自分に合った就労を目指す。

CADコースの訓練内容

主な訓練科目

専 門

1. ITビジネス論
2. オフィスソフト基本実習
3. 設計概論
4. CAD操作基本実習
5. 立体化実習
6. 製品管理実習

社会生活

7. 社会生活スキル演習

就 職

8. 就職対策演習

未経験でも心配ありません。
基礎からじっくり取り組みます。



指導員

1. ITビジネス論

訓練の目的：ITの基礎的な知識を習得する。

ITを活用する**すべての社会人・これから社会人となる学生が備えておくべき、ITに関する基礎的な知識**を学ぶ。



講義を聞く



繰り返し問題を解き
知識を定着させる

2. オフィスソフト基本実習

訓練の目的：・ビジネス文書やデータ活用、プレゼン資料など、企業実務で役立つスキルを身に付ける。
・**指示通り正確に作業する力**を身に付ける。

目標資格：日商PC検定（文書作成3級、データ活用3級）



習得するオフィスソフト

- ・ **Word：**
ビジネス文書の作成や編集技術を学ぶ。
- ・ **Excel：**
表計算ソフトによる業務データの集計、分類、並べ替え、計算や各種グラフの作成を学ぶ。
- ・ **PowerPoint：**
プレゼンテーション資料の作成技法を学ぶ。

オフィスソフトを活用して、事務の仕事を
効率的に行えるようになろう。



指導員

3. 設計概論

訓練の目的：ものづくり・建築業界で働く上で必要になる
幅広い知識（用語や名称など）を習得する。



ものづくり概論：

- ・ **機械製図**
機械図面で使用する投影法、寸法記入法などを学ぶ。
- ・ **2次元CADの知識**
CADシステムに関する基本的な知識を学ぶ。

建築概論：

柱や梁といった建築物を構成する部材の名称、材料の性質、建築法規の基礎的知識、間取りの考え方などを学ぶ。

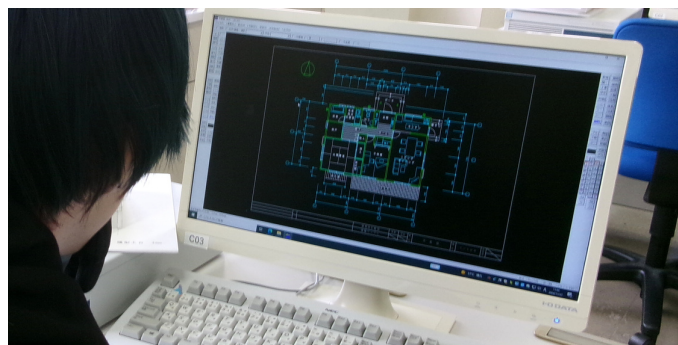
ものづくり・建築業界に必要な知識を
体系的に学んでいこう。



指導員

4. CAD操作基本実習

訓練の目的：製作で重要な図面の作成方法や読解力を学び、
設計や製図を効率化するための図面作成ソフト
（AutoCAD、jw_CAD）の基本操作を習得する。



目標資格：2次元CAD利用技術者試験2級
建築CAD検定3級

習得するCADソフト

- ・ **AutoCAD（機械製図）**
線分、円、円弧などのコマンドを使用しながら図を描いていく。座標を入力して正確な寸法で図を作成する。
- ・ **jw_CAD（建築製図）**
建築業界向けのCADソフトで、主にマウス操作で図を作成する。

CADソフトによって操作方法が異なります。
混同しないように注意しながら覚えていこう。



指導員

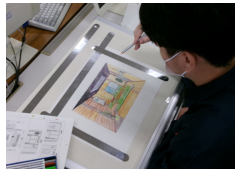
5. 立体化実習

訓練の目的：2次元でのパース作成・3次元CADソフトの使い方を学び、製品を立体化する技法を学ぶ。



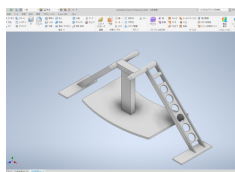
パース作成：

建築図面だけでは伝えられない内観イメージなどを「絵」で表現する方法を学ぶ。



3次元CAD基本操作：

3次元の立体モデルを作成、編集、解析の仕方などを学ぶ。



自分が考えた製品・室内装飾のイメージを2次元・3次元で表現してみよう。



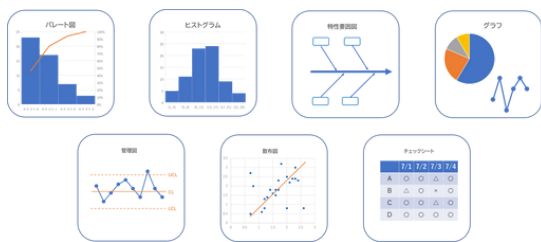
6. 製品管理実習

訓練の目的：

- 品質管理の知識を習得する。
- 製品の測定や検査技術を習得する。
- プレゼンテーション技法を習得する。

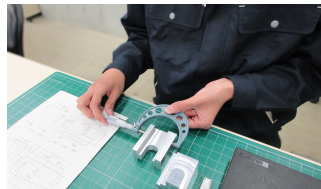
目標資格：QC検定（品質管理検定）

品質管理：品質を評価、管理するために使うQC7つ道具などのツールを学ぶ。



測定検査実習：

測定器の正しい使い方を学ぶ。製品の検査を行い、品質の合否判定を行う。



プレゼンテーション実習：

オフィスソフトを活用し、自分が設計・立体化した作品の工夫点などを発表する。



自分の考え・イメージを相手に伝えることは、仕事で最も重要な部分です。自分の意見をまとめ、説明する力を身に付けよう。



7. 社会生活スキル演習

訓練の目的：

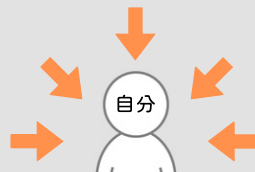
- ビジネスマナーや仕事の進め方など、社会生活で必要となる力を身に付ける。
- 他者との対話を通して自己理解を深める。
- コミュニケーション力(書く、話す、聞く)を身に付ける。

訓練の内容：

- テーマを決めた実践的な演習で、頭の中にあるものを書き出し、自分の考えを客観的にとらえて整理する。
- 指示どおりに行動したり、次の人に伝言を伝えるために、聞き取るべきポイントやメモの取り方などを学ぶ。



▼ 周りの人と対話する中で



色んな角度から自分と向き合い自己理解を深める

他の訓練生や指導員との対話の中で、自己理解を深めていきましょう。



8. 就職対策演習

訓練の目的：

- 自分に合った就職先を見極める。
- 自分の障害特性、配慮事項を企業に伝える力を身に付ける。

訓練の内容：

- ①自己分析
自身の特性（得意なこと、苦手なことなど）を分析する。
- ②求人検索
自己分析の結果をもとに、自分に合った求人を探す。
- ③応募書類作成・面接練習
自分の特性、配慮事項を応募書類に記載し、企業に伝えられるように面接の練習などを行う。



自己分析



求人検索



応募書類作成



面接練習

自分に合う企業に就職するために、まずは自分を知ることから始めましょう。



想定する訓練生のイメージ

● 自己理解 ● 仕事基本スキル ● 専門スキル

Aさん 32歳

障害名：うつ病

前職での長時間労働の結果、うつ病を発症する。症状が落ち着いてきたため、社会復帰したいと思っているが、休職期間が長く、働き始めることに不安を感じている。



▼ 訓練を通して..

- 1日6時間であれば継続して働けることがわかった。
- 得意だった整理整頓が、強みになることがわかった。
- 資格試験に合格し、自信がついた。
- ITの基本的な知識を習得した。
- Word、Excelを習得した。

▼ 就職

職種：事務補助
パートタイム
(1日6時間)



Bさん 23歳

障害名：自閉スペクトラム症 (ASD)

今まで働いた経験がなく、就労のイメージができない。障害者求人で探そうと思っているが、自分に何が向いているのかもわからず、就職活動もどのように進めていいかわからない。



▼ 訓練を通して..

- 訓練でデータ入力の適性があることがわかった。
- ビジネスマナーや報連相など仕事の基本を習得した。
- コミュニケーション力が向上した。
- PCの入力作業が、素早く正確に行えるようになった。

▼ 就職

職種：データ入力
フルタイム



Cさん 27歳

障害名：注意欠如・多動症 (ADHD)

今まで障害を開示せず (クローズ) 就労したが、仕事が続かず転職を繰り返している。自分自身では長く働きたいと思っているが、なぜ続かないかわからず困っている。



▼ 訓練を通して..

- 複数同時作業 (マルチタスク) が苦手だが、一つずつの指示であれば正確に作業できることがわかった。
- 自分の特性を理解し、障害を開示 (オープン) して就職活動を行った。
- ビジネスマナーや報連相など仕事の基本を習得した。

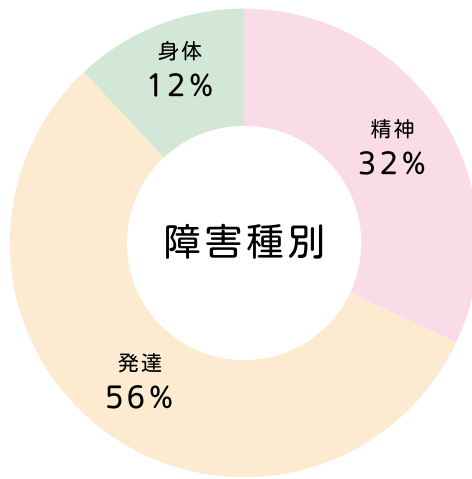
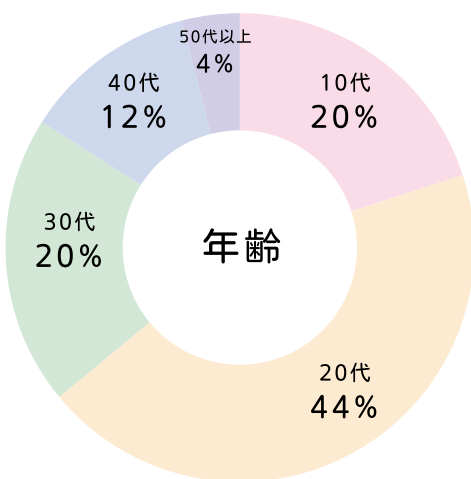
▼ 就職

職種：軽作業
フルタイム



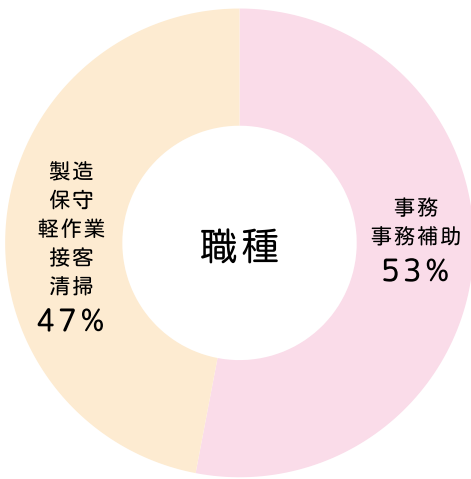
訓練生の内訳

(令和6年度 入校生)



就職先の内訳

(令和6年度生 就職率90%)



訓練生は、主に10代から30代の方が受講しています。障害種別は、精神障害、発達障害、身体障害と様々な人が訓練に取り組まれています。いろいろな人と同じ教室で訓練に取り組むことは、「他者への理解」「自分の理解」に繋がります。



指導員

